

小手先の修正ではなく撤回を!

鉄道駅からの距離だけで地域を線引きし、郊外団地やニュータウンを「居住誘導区域外」として切り捨てる神戸市の都市空間向上計画(素案)が、6月末に発表されました。

日本共産党神戸市会議員団は、居住権・財産権を脅かす計画は許されないとして、神戸市の地域の線引き案をおしらせするチラシを、新聞各紙におりこみました。

これを受け、神戸市の市民意見募集には、地域の自治会の方が多数の反対署名をそえて意見を出すなど、最高の

400通を超える意見がよせられ、ほとんどが反対の意見でした。こうした事態をうけて、9月議会では与党である自民党議員までもが「地域の線引きやめよ」という表明をおこなうにいたりしました。

10月11日の神戸市会決算特別委員会で神戸市は、「(鉄道駅だけでなく)交通利便性が比較的高い主要バス路線なども考慮し直して、区域設定をする」と「計画見直し」を表明しました。

しかし神戸市は、区域を見直した「計画(案)」を10月

都市空間向上計画(案)

31日に公表、11月1日から12月2日に市民意見募集と、11月5日から19日までに各区での説明会をおこない、当初のスケジュール通り年度内の策定を強行しようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、住宅地を「居住誘導区域」と「居住誘導区域外」に線引きすることをやめない限り解決しないとして、計画の撤回を決断すべきだと求めて

います。

市が開発した団地への責任を放棄し、市民の願いや不安の声にも応えず、地域切り捨てを続けていては、神戸は決して「選ばれるまち」にはなりません。

ひきつづき市民意見募集に多くの意見をおよせいただくとともに、神戸市の説明会に多数参加し、反対の意見を表明していただくことを訴えます。

ぜひ声をおよせください

市民意見(パブリックコメント)提出先

12月2日(月)
消印有効

受付期間 11月1日(金)~12月2日(月)

件名 神戸市都市空間向上計画(案)

提出方法 郵送・持参

(持参の場合
平日8時45分~12時、13時~17時30分の間)



〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30

三宮国際ビル6階

神戸市都市局計画部都市計画課宛

【FAX】078-595-6802

【E-mail】toshikukan@office.city.kobe.lg.jp

【意見送信フォーム】

ホームページ上の意見送信フォームによる提出

案に対するご意見に

件名・お名前・ご住所 をそえて提出ください

ぜひご参加を

申込不要、お住まいの区に関わらずご参加可能です

●神戸市都市空間向上計画 説明会日程

区	日	時	場所
東灘	11月6日	水 18:30~20:00	東灘区民センター うはらホール
灘	11月5日	火 18:30~20:00	灘区民センター マリーホール
中央	11月19日	火 18:30~20:00	神戸市勤労会館 大ホール
兵庫	11月7日	木 18:30~20:00	兵庫区役所新庁舎 みなとがわホール
北	11月8日	金 18:30~20:00	北区民センター すずらんホール
北神	11月11日	月 18:30~20:00	北神区民センター ありまホール
長田	11月12日	火 18:30~20:00	新長田勤労市民センター別館 ピフレホール
須磨	11月13日	水 18:30~20:00	ユースプラザKOBE・WEST パティオホール
垂水	11月14日	木 18:30~20:00	垂水年金会館 大ホール
西	11月15日	金 18:30~20:00	西区民センター なでしこホール

都市空間向上計画(素案)について よせられた意見をご紹介します

- 財産価値が下がるような話を当たり前のように出すのがおかしい。将来的な財産売却まで視野に入れて住居購入した。こんなことになるなら神戸市に住んでいない。詐欺と同じ。(西区)
- この計画は机上の空論。どうやって駅周辺に広大な宅地を確保し住居を建設するのか。そんな狭苦しいところに住もうと思う人がどれだけいるのか。(北区)
- 地価が下がり、売りに出しても買い手がつかない。市民を冒とくした案には絶対に反対。(西区)

- 神戸市は、星和台という神戸有数の住環境を誇る由緒ある住宅地を分断し、壊そうとしている。なぜ居住に不適な区画とされるのか、市の担当者は納得のいく答えを提示できるのか。(北区)
- 同じ神戸市民なのに住んでいる場所によって一方的に差別を受けるのは、やり場のない憤りを感じる。(東灘区)
- 三宮の再開発に巨額の税金を使うなら、住んで良かったと思えるような街づくりに使うべき。(北区)
- 郊外の環境の良いところで子育てし、老後はゆっくり過ごしたいと考えていた人の夢を打ち砕く計画。市民に知られないように、広報に小さく記載し、説明会も選挙中におこなうなど、やり方があんまりだ。(垂水区)

市の予算
0.08%分で
維持できる

敬老パスは福祉の 象徴であり、宝物

敬老・福祉パスを守る署名にひきつづきご協力を

今年6月に兵庫県バス協会から神戸市に負担金の増加を求める申し入れがあり、敬老パス・福祉パスのあり方について、有識者会議で検討が始まり、制度維持を名目にあきらかな改悪、利用者負担を増やす制度へと変える方向に議論がすすめられています。それに対して、多くの市民が改悪反対の声を上げ、短期間で

目標の2倍を超える2万4000筆の署名が集まり、10月11日に市長に提出されました。

署名を集めた「敬老・福祉パス制度を良くする会」は12月中旬に第2回市民集会を予定、それまでにひきつづき署名をつみあげ、改悪ストップの運動を強めています。



か」という質問に対し、市長は「署名の内容は読めば理解できるので、それ以上意見を聞く必要はない」という冷たい態度をとるのみで、市民に背を向ける歪な姿勢を隠そうともしませんでした。

久元市長、敬老・福祉パス署名 2万4000筆の市民の声は軽いですか？

しかし、10月11日の決算特別委員会、総括質疑では、大かわら鈴子議員の「有

識者会議には当事者、市民が入っていない。市民の生の声もきくべきではないの



また10月15日、第3回有識者会議に約50名の傍聴者が詰めかけました。

会議では福祉パスは「現状維持」、敬老パスは「無料乗車券制度は廃止を含め検

市民の声を聞き「制度」の拡充を！

討」「バス近郊区110円の上限を改悪」「全世界で痛み分け」などの意見が出され、11月1日の第4回有識者会議で「まとめ」がおこなわれます。11月下旬には「神戸市の方向性」が発表され、その後、市民意見が募集開始される予定です。

日本共産党の味口としゆき議員は9月26日の本会議の代表質議で、数字を示

し、一般会計の0.08%、6億5000万円あれば制度を維持できると市長の決断を迫りました。

大型開発ばかり優先し、利用者の声がないがしろにする久元市政にさらなる署名そして市民意見を集中させ、制度改悪阻止と制度拡充をもとめ全力でがんばります。

第3回有識者会議での委員の主な意見

	見直しの方向性
対象交通機関（両制度共通）	近距離輸送の路線バスが基本という認識は守るべき。 長距離移動のための鉄道まで拡大するのは難しい。
福祉乗車証（母子以外）	現状の制度を維持していくべき。
福祉乗車証 母子世帯	すべてのひとり親世帯に適用されるべき。 通勤・通学の定期券の補助という形にする方が、制度目的に合致している。
敬老優待乗車証	利用者負担を上げるなど、年齢を上げるよりは違う方法を検討した方が良い。
敬老優待乗車証 敬老無料乗車券	廃止を含めて見直す必要がある。 高齢者のみに支援があるのは不公平。
敬老優待乗車証 近郊区上限110円の料金設定	地下鉄・新交通は小児料金であり、今のままでは不公平。 距離に連動した形が望ましいが、少なくとも地下鉄との整合性は取るべき。
全体を通しての意見	中・長期的に行っていくべきものを整理していくことが大事。福祉パスの母子世帯、敬老無料乗車券、近郊区110円上限設定の問題は短期的に見直していくべきというコンセンサスが得られた。

「教員同士のいじめ・暴行」「児童へのいじめ・体罰」
なぜ神戸で、人権や憲法を無視したことがおきるのか？-

教育シンポジウム

主催 日本共産党神戸市議団

11月16日(土) 午後2時開会

須磨パティオホール(地下鉄名谷駅前)

基調講演 藤森 毅(日本共産党中央委員会文教委員会責任者)

パネリスト 保護者やいじめ・教育問題に取り組んでいる方を要請中

学校での不祥事を生みださないとりくみとともに、真に子どもたちの成長を支える学校づくりをごいっしょに考えましょう